



第16回

全日本学生体操競技選手権大会
兼第15回学生東西対抗体操競技大会



札幌市中島スポーツセンター

昭和37年8月15・16・17・18・19日

主 催

全日本学生体操競技連盟・北海道教育委員会・札幌市教育委員会

主 管

北海道体操連盟

後 援

日本体操協会・朝日新聞社

公式体操器械器具は

ダイヤモンド印マークを



上坂鉄工所

TEL (622) 8171・8172・8096

東京都墨田区麩橋4の15

日本体操協会指定工場

高松宮お言葉



日本体操チームが、さきのローマオリンピック大会では団体優勝を遂げ、さらに今夏ブラーグの世界選手権では、男子が団体優勝、女子は第3位という立派な成績を収め、そのほか種目別でも徒手、鉄棒の選手権を獲得し、4つの金メダル、4つの銀メダル、5つの銅メダルを収めるというような輝かしい成績をあげられたことは、まことに御同慶に堪えません。私がいままでなく、体操競技は無名の天才選手が突如として現われるというようなものではなく、天分に恵まれた者にして、5年10年と長年にわたる精進努力の積み重ね

と、幾多の激しい試合経験によって初めて優秀選手となりうるものであります。

しかしながら、今回のブラーグの大会でも証明されるように、たえず心身発刺たるフレッシュマンの活躍が大切なことで、2年後のオリンピック大会を考えると、諸君の中から幾人かの新人を期待せずにはおれません。

学生連盟は、明日を約束する代表選手の唯一の苗床であり、その供給源であります。もとより諸君の総てがその代表選手ではありませんが、諸君のきびしい切磋琢磨によって、その中から真に優秀な選手が生まれるものと確信いたします。

さらにまた、諸君が将来我が国の中堅層となって活躍されるとき、この真剣にして命がけの体操競技の練習によって習得されたものが、必ずや社会生活に役立つものであるものと信じ、かつ期待するものであります。

この大会も回を重ねるにつれ参加校もますます多くなり、また内容的にも充実するとともに各校の技倆が著るしく平均して参りましたことは、全般的水準の上昇を意味するものであり、対抗競技の意義を一層深くするものであります。

諸君の先輩たちが築かれた輝かしい業績を恥ずかしめることなく、この大会を契機として一段の飛躍を期待してやみません。

